

令和3年度

シラバス

青翔開智中学校

第3学年

もくじ

国語	3～4
社会	5
数学	6～7
理科	8
英語	9
探究基礎Ⅲ	10
音楽	11
美術	12
保健体育	13～14
技術・家庭科	15～16
道徳	17

教科名	科目名	単位数	学年・コース
国語	現代文	3	中学3年

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。				
学習内容の概要	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成するための事項について指導する。 なお、授業冒頭には論理エンジンテキストのテストを週1回程度実施する。				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	テスト	60%	平常点	40%	
教科書・教材等	国語3(光村図書)、ワーク 光村「国語3」準拠(育仲社)、論理エンジン OS4/OS5(水王舎)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、セレクト漢字検定5級～2級(桐原書店)				
授業形態	習熟度別				

年間学習計画												
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ							
1	4	詩 読む	5	○	7	15	16					
		「握手」 読む(小説)	8									
	5	「文章の種類を選んで書こう」 書く	5									
		6	「作られた『物語』を超えて」 読む(論説)					5				
	7		「説得力のある構成を考えよう」 話す・聞く					9				
		「ピプリオバトル」 話す・聞く	3									
		「読書を楽しむ」 読書										
	8	「ディベート」 話す・聞く	8					○	3	6	8	
	2	9	「人工知能と未来」 読む(論説) 「多角的に分析して書こう」 書く					9	○	4	6	14
		10	「故郷」 読む(小説)					9				
		11	「誰かの代わりに」 読む(論説) 「情報を読み取って文章を書こう」 書く					9				
			12					「報道文を比較して読もう」 情報				
3		1	「本は世界への扉」 読書	3	○	4	6	14				
	2	「温かいスープ」 読む(随筆)	10									
		「私を束ねないで」 読む(詩)										
	3	「卒業文集制作」 書く	8									

教科名		科目名		単位数	学年・コース	
国語		古典		2	中学3年	
科目の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。				
学習内容の概要		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について指導する。なお、授業冒頭には漢字の小テスト及び五色百人一首(青20首)の解説を実施する。				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で‘伝え合う力’を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
評価の方法		テスト	60%	平常点	40%	
教科書・教材等		国語3(光村図書)、iワーク 光村「国語3」準拠(青伸社)、【新版】標準 新演習中2(エデュケーショナル・ネットワーク)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、中学書写(光村図書)、ジャポニカ学習帳 漢字練習帳200字、セレクト漢字検定 5級～2級(桐原書店)				
授業形態		一斉				
年間学習計画						
学期	月	単元名・学習内容など			時数	タグ
1	4	俳句の可能性 俳句を味わう			10	
	5	慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語			2	
	6	和語・漢語・外来語			2	
	7	学びて時に之を習ふ―「論語」から			10	
2	8	すいかは幾つ必要? (「文法への扉 1」)			3	
		「ない」の違いがわからない? (「文法への扉 2」)			2	
	9	和歌の世界			10	
	10	おくのほそ道			10	
	11					
	12	多様な文字(書写)			6	
3	1	効果的な文字の使い方(書写)			4	
	2	古典文法(用言)			10	
	3					

教科名		科目名	単位数	学年・コース				
公民		公民	4	中学3年	必修			
科目の目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力を付ける。						
学習内容の概要		現代の世界や日本の情勢について、様々な資料や統計をもとにして、現代社会のもつ機能と課題を多面的・多角的に考察し、社会への関心を高めていく。						
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度				
		現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気付き、それらを理解している。	現代社会における文化の意義や影響について相互の関連を多角的に考察し、社会の変化に対応できる思考力を持つ。	現代社会に対する関心を高め、積極的に追求しながら、世界の中の日本人としての自覚と責任を考えることができる。				
評価の方法		単元テスト	60%	成果物・提出物	30% 意欲・態度 10%			
教科書・教材等		新しい公民(東京書籍) 中学必修テキスト 中学 社会(公民)						
授業形態		クラス一斉						
年間学習計画								
学期	月	単元名・学習内容など		時数	探究	タグ		
1	4	個人の尊重と日本国憲法	人権と日本国憲法	8	○	4	14	15
	人権と共生社会		6					
	5	現代の民主政治と社会	これからの人権保障	7				
			現代の民主政治	8				
	6	国の政治の仕組み・偉人総選挙	8					
2	7	私たちの暮らしと経済	地方自治と私たち	8	○	1	8	16
	私たちの暮らしと経済		消費生活と経済	5				
	8	私たちの暮らしと経済	生産と労働	5				
			価格の働きと金融	8				
	9	政府の役割と国民の福祉	8					
3	10	地球社会と私たち	これからの経済と社会	8	○	3	8	15
	国際社会の仕組み		8					
	11	歴史・公民 演習	さまざまな国際問題と日本	8				
			裁判所研究	8				
			問題演習	8				
12		問題演習	8					
		これからの地域社会と日本	6					
		問題演習	8					
3	1		問題演習	8	○			
	地域紛争調査		6					
	問題演習		10					
	2	地理・歴史・公民 まとめ		7				
	3							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学	3	中学3年	必修
科目の目標	高校数学の学習が円滑に行えるように、中学数学の基礎内容を定着する。			
学習内容の概要	中学総合的研究問題集を使い、各自で復習を行う。毎週確認テストを行って自分が苦手としている分野や範囲を確認し、基礎内容の定着を図る。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解して知識を身に付け、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数量関係についての基礎的な知識を活用しながら、見通しを持って事象を考察したり表現したりすることができる。	様々な事象を数量で捉え、その性質や関係を見出すなど、数学的に考え表現することができる。	
評価の方法	単元テスト	60%	提出物	20%
			態度	20%
教科書・教材等	旺文社 中学総合的研究 問題集			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	数編	第1章 正負の数	15		
			第2章 数の性質			
			第3章 平方根			
	5	式編	第1章 文字と式	15		
			第2章 式と計算 第3章 展開と因数分解			
6						
7	方程式編	第1章 1次方程式 第2章 連立方程式 第3章 2次方程式	15			
2	8					
	9	関数編	第1章 比例・反比例 第2章 1次関数 第3章 $y=ax^2$	15		
	10					
	11	図形編	第1章 平面図形 第2章 空間図形 第3章 平行と合同 第4章 図形の性質 第5章 相似な図形 第6章 円の性質 第7章 三平方の定理	36		
	12					
3	1					
	2	データの活用編	第1章 データのちらばりと代表値 第2章 データのちらばりと箱ひげ図 第3章 場合の数 第4章 確率と標本調査	21		
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	統計学	2	中学3年	必修

科目の目標	今後の探究学習などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることと、物事を鵜呑みにせず、冷静に判断できる力をつけることが目標である。							
学習内容の概要	統計学の基礎となる概念、考え方を学ぶ。具体的には、1学期には記述統計（データの収集・要約）と場合の数について、2学期は推測統計（推定・検定）を学ぶ。2学期の後半からは1つのテーマについて制作活動を行う。ここでテーマの分析には数学の視点のみならずあらゆる視点を用いる。							
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力			
	各単元において、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけ、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。		事象を数学的に考察し表現したり、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付ける。		各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考えに基づいて判断しようとする。			
評価の方法	課題	60%	発表	20%	授業態度	10%	提出物	10%
教科書・教材等	iPad、PC、授業プリント							
授業形態	一斉							

学期	月	データの分析	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	データの分析 場合の数と確率 確率分布と統計的な推測	データを適切に読み取り、適切な計算方法を用いることができる。データを確率を用いて偶然に起こりえる事なのか、統計的に起こり得ない事なのかを判断することができる。	26				
	5							
	6							
	7							
2	8	仮説検定 プログラミング	これまでに学習した各種統計手法をプログラムを書き実装する。論理的思考力を育むためのプログラムの企画、実装も行う。	32				
	9							
	10							
	11							
	12							
3	1	製作活動	教員が与えたテーマを数学や工学、言語等の様々な方向から観察、分析して発想を飛ばし、生徒がテーマから感じたこと、考えたことを作品として表現する。	20				
	2							
	3							

教科名	科目名	単位数	学年・コース
理科	科学	4	中学3年

科目の目標	自然の事物・現象についての知識・理解を深め、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。		
学習内容の概要	生命: 生命の連続性 物質: 化学変化とイオン 地球: 宇宙を観る エネルギー: 運動とエネルギー		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
	自然科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究する方法を身につける。	自然科学の事物・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断した事柄を的確に表現できる。	自然科学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決しようとする態度を身につけようとする。
評価の方法	単元テスト 30%	レポート 30%	成果物 20% 授業態度 20%
教科書・教材等	啓林館『未来へひろがるサイエンス3』、『中学必修テキスト3年』		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画						
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ	
1	4	生命の連続性 ・生物のふえ方と成長	28	○	10	11
	5	・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化				
	6	宇宙を観る ・地球から宇宙へ	28			
	7	・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方				
2	8	化学変化とイオン ・水溶液とイオン	28			
	9	・電池とイオン ・酸・アルカリと塩				
	10	運動とエネルギー ・力の合成と分解 ・物体の運動	28			
	11	・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用				
	12	自然と人間 ・自然界のつり合い ・さまざま物質の利用と人間 ・科学技術の発展	24			
3	1	・人間と環境 ・持続可能な社会をめざして				
	2	中学総まとめ	20			
	3					

教科名	科目名	単位数	学年・コース
外国語	英語	6	中学3年

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度の向上促進を図り、聞くこと、話すこと(やり取り・発表)、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を目指す。高校レベルの初歩的な英語を眺んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解し、中学～高校初歩レベルの英語を用いて自分の考えなどを書いたり話したりできるようにする。		
学習内容の概要	上記の目標を達成するために、テキストを使用しての文法学習に加え、オンラインスピーキングトレーニング・多読活動・探究スキルラーニングでの多様な成果物作成と発表を通して、聞くこと、話すこと(やり取り・発表)、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を図る。特に、オンラインスピーキングトレーニングでは、外国人講師とのマンツーマンでの会話練習を積み重ねることにより、異文化を持つ人と共通言語である英語で対話することを恐れず積極的に発話する姿勢を身につけること、相手からの質問に対する素早い応答に加え、答えに対する理由づけのような「プラスワンフレーズ」を定着させ、流暢さの向上を主な目標とする。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	当該レッスンにおける文法事項を含む文を正しく聞き取ったり読み取ったりすることができるか。正しく話したり音読したり、書いたりできるか。また、そこで扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか。	当該レッスンで得た知識を探究スキルラーニングに落とし込むことができるか。対話場面で流暢に発話・応答できているか。自分の考えを表現できているか。	間違えることを恐れずに積極的に、各種活動へと取り組んでいるか。また自分自身の学習を管理し、コミュニケーション能力の向上のため行動しているか。また、非母語話者を含む多様な英語やその背景にある文化を理解しようとしているか。
評価の方法	探究スキルラーニングでの成果(演劇・レポート・発表など) 提出物 40% 単元末テスト 60% 全活動における意欲と態度		
教科書・教材等	New Treasure English Series Stage2 Second Edition (Z会) New Treasure English Series Stage2 Second Edition 文法問題集 (Z会) New CrownⅢ (三省堂)、クラウン チャンクで英単語 Basic 第2版 (三省堂)		
授業形態	習熟度別		

年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ		
1	4	オリエンテーション	2				
		New Treasure 2 Lesson 6現在完了(完了・結果・経緯・継続)	16				
		New Crown 現在完了進行形					
	5	New Treasure 2 Lesson 7受動態	13				
		探究スキルラーニング① ノートテイキング	6	○	1	4	
	6	New Treasure 2 Lesson 8名詞、不定代名詞、再帰代名詞	12				
New Treasure 2 Lesson 9後置修飾、分詞による修飾		14					
7	探究スキルラーニング② 著名人スピーチから学んでみよう	8	○	16			
2	8						
		New Treasure 2 Lesson 10関係代名詞	10				
	9	New Treasure 2 Lesson 11不定詞の発展用法	10				
		New Treasure 2 Lesson 12比較、関係疑問、付加疑問、感嘆文	10				
	10	探究スキルラーニング③ 英語でポスターを制作しよう！	10	○	14	15	
		Online Speaking Trainingオンラインスピーキングトレーニング受講（計10回/10月～12月までを予定） チャンクで英単語 Basic	10				
	11	New Crown 原形不定詞	10				
		New Crown 仮定法	10				
	12	探究スキルラーニング④ SDGs ～フェアトレード～ ※教科横断での展開を予定	10	○	1	3	6
		探究スキルラーニング⑤ The Missing Piece ※教科横断での展開を予定	10	○	12		
3	1	高校入試対策	5				
		高校英語の準備	38				
	2	リフレッシュコース・グローバルコース					
		探究スキルラーニング⑥ My History	7	○	15		
	3	幸せとはなにか ～フィリピンオンラインスタディツアー～	3				

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎Ⅲ	2	中学3年	必修
科目の目標	地域の社会課題をSDGsと関連付けて捉えることで、課題解決に取り組む意義を見出すことができるようになる。			
学習内容の概要	デザイン思考を使って創造的に課題解決を行います。SDGsの目標をもとに課題設定を行い、鳥取の課題を解決します。身近な課題解決がSDGsの目標達成に有効であれば、みなさんの課題解決が世界の課題解決につながるようになります。地域へ飛び出しフィールドワーク等を行い、データを実際に収集することを大切にしましょう。			
評価の観点	・デザイン思考を活用できたか。 ・チームで協力して課題解決できたか。 ・データに基づいた根拠ある課題設定や、データに基づいたテスト(検証)ができたか。 ・世界の課題と地域の課題を関連付けた課題設定ができたか。 ・解決策をプロトタイプとして形にできたか。 ・解決策の提案に対して共感を得ることができたか。・設定した課題は解決されたか。			
評価の方法	成果物	発表		
教科書・教材等	学びの技、鳥取県100の指標			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4				○	
		オリエンテーション	デザイン思考・SDGsについて	4		
	5	領域設定	SDGsと地域課題の関連	4		
		課題設定	課題の設定	4		
	6	アイデア設定	課題解決のためのアイデア設定	4		
		プロトタイプ作成	解決アイデアの具体作成	4		
	7	テスト	プロトタイプの効果検証	6		
		プログラミングキャンプ	プログラミングを活用したデバイス作成	7		
2	8	作品作成	Adobeサービスを活用した課題解決提案	4		
	9	作品作成	Adobeサービスを活用した課題解決提案	2		
		発表会	校内発表会	4		
	10	ディベート	SDGsをテーマとしたディベート	4		
		ディベート	SDGsをテーマとしたディベート	4		
	11	ディベート	SDGsをテーマとしたディベート	4		
		ディベート	SDGsをテーマとしたディベート	4		
	12	ディベート予選	校内予選	4		
		ディベート決勝	校内決勝	4		
3	1	青開学会発表準備	青開学会のための発表資料作成・展示準備	2		
		青開学会発表準備	青開学会のための発表資料作成・展示準備	4		
	2	青開学会発表準備	青開学会のための発表資料作成・展示準備	6		
		青開学会	探究活動成果発表会	7		
	3	テクノロジー活用ワーク	画像認識AIの活用ワークショップ	4		
		テクノロジー活用ワーク	画像認識AIの活用ワークショップ	4		

教科名		科目名	単位数	学年・コース		
音楽		音楽	1	中学3年		
科目の目標		リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。				
学習内容の概要		一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性と認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れながら、その楽曲を形作っている諸要素や良さを感じ、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。				
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		曲の持っている情景や心情を感じ、味わいながら聴き、作曲の背景や作品を構成する諸要素の理解を深めている。曲想に相応しい表現を工夫し、演奏に生かしている。	歌唱に於いて発声や言葉の意味を理解し表現している。器楽に於いて演奏技術の習得や音色の工夫に励んでいる。		音楽への関心が積極的に取り組む態度になっており、グループで協力し合い、協調性を持って取り組む姿勢を持っている。	
評価の方法		筆記テスト点 50% 実技テスト点 30% 平常点 20%				
教科書・教材等		中学生の音楽2・3下(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルトリコーダー				
授業形態		クラス一斉				

年間学習計画						
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ	
1	4	ブルタバ(モルダウ) 曲の背景を理解し、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞する。	2			
	5	音楽の約束記号や音楽用語の読み方と意味を覚える。	1			
		リズムゲームリズムを作り、拍子に合わせてたたく。	2			
	6	組曲「展覧会の絵」から曲の特徴や感じ取ったこと、曲の良さについてプレゼンテーションする。	3			
	7	「レクイエム」モーツァルト作曲のミサ曲の鑑賞をする。	1			
		エチュードハ短調「革命」ショパン作曲のピアノ曲の鑑賞をする。	1			
2	8	リコーダーの運指運指を理解しリコーダーを演奏する。	1			
	9	「ラヴァーズ コンチェルト」担当のパートをリコーダーで演奏する。曲のまとまりやハーモニーを感じて合奏する。	3			
	10	「カノン2」リコーダーで輪奏をする。	2			
		「花の街」詩や曲の背景を理解し、共感しながら歌う。	3			
	11					
		12	プレゼンテーション(音楽史、楽器演奏等)各自がテーマを決めて取り組み発表する。			
	3	1	音楽の基礎知識3 記号や音楽用語の読み方と意味を覚える。			
2		「旅立ちの日に」曲想や強弱を工夫して気持ちを込めて歌う。	4			
3		日本の伝統音楽雅楽や能を鑑賞して日本の伝統芸能に親しむ。	2			

教科名	科目名	単位数	学年・コース
美術	美術	1	中学3年

科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。				
学習内容の概要	表現・美術を愛好する心情を培う。心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 対象を見つめ感じとる力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩などによる表現の技術を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 鑑賞・自然の造形や美術作品などについての基本的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度		
	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。		
評価の方法	テスト (鑑賞を含む)	35%	発想・構想 25%	技能 25%	授業態度 15%
教科書・教材等	美術(日本文教出版)、スケッチブック				
授業形態	クラス一斉				

学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	ガイダンス 「防災ポスター」ポスターの目的・昨日・製作手順について理解する	20	○	1 14 26
	5				
	6				
	7				
2	8	「篆刻」1人1つ、自らデザインし制作する。	16		
	9				
	10				
	11				
	12				
3	1	「墨で描く」炭の濃淡の表し方を実践し、書き方を学ぶ。	3	○	
	2				
	3				

教科名	科目名	単位数	学年・コース
保健体育	保健体育	3	中学3年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。		
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけているとともに、それらを他者に伝えている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	単元テスト	20%	技能テスト 40% 平常点 40%
教科書・教材等	ステップアップ中学体育(大修館書店)		
授業形態	男女別クラス一斉(男子クラス)		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	体づくり運動	6		
		体育理論			
	5	ハンドボール	12		
	6	陸上	12		
	7	バレーボール	16		
8					
2	9	ソフトボール	11		
	10	バスケットボール	12		
	11	バドミントン	11		
	12	選択:ダンス、器械運動 保健	12		
	1				
3	2	卓球 保健	13		
	3				

教科名	科目名	単位数	学年・コース
保健体育	保健体育	3	中学3年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。		
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	単元テスト 20%	技能テスト 40%	平常点 40%
教科書・教材等	ステップアップ中学体育(大修館書店)		
授業形態	男女別クラス一斉(女子クラス)		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	体づくり運動 体育理論	6		
	5	陸上	12		
	6	バスケットボール	12		
	7	ハンドボール	16		
2	8				
	9	バドミントン	11		
	10	ソフトボール	12		
	11	サッカー	11		
	12	卓球、保健	12		
3	1				
	2	選択:ダンスか器械運動、保健	13		
	3				

教科名		科目名		単位数		学年・コース			
技術・家庭		技術・家庭（技術領域）		1		中学3年			
科目の目標		実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている生物育成の技術とエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、これらの技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。生活や社会の中からこれら技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、適切かつ誠実に工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。							
学習内容の概要		(1) 生活や社会を支える生物育成の技術とプランターによる野菜の栽培計画と体験 (2) エネルギー変換の技術による問題の解決 (3) 社会の発展とエネルギー変換の技術							
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度			
		○生物育成とエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、及び生物育成の適切な管理・技能を身に付けている。また、エネルギー変換の技術について、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。		○生物育成とエネルギー変換に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。		○よりよい地域社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組む、進んで生物育成とエネルギー変換の技術と関わり、技能を身に付けようとしている。 ○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。			
評価の方法		テスト	50%	成果物	40%	発表	10.0%		
教科書・教材等		技術・家庭（技術領域）（開隆堂）							
授業形態		クラス一斉							
年間学習計画									
学期	月	単元名・学習内容など				時数	探究	タグ	
1	4	生活や社会を支える生物育成の技術 ・身の回りにある生物育成の技術を調べ、生活や社会に果たしてきた役割や方法、工夫について考える。				3			
	5	さまざまな生物育成の技術 ・作物、動物、水産生物及び森林に関わる栽培・飼育・育成技術について知る。				4			
	6	生物育成の技術による問題解決(課題の設定と設計) ・問題解決の手順を知り、生物育成の技術を用いて解決したい問題を見つけ、課題を設定する。 ・設定した課題に基づき、育成環境の調節方法を構想して、育成計画を具体化する。				4			
	7	・安全・適切に栽培・検査し、必要に応じて適切に対応する。 ・設定した課題の解決状況を評価するため、作物の生育状況と、育成環境の調節、成長の度合いなどのデータを記録する。				3			
2	8	これからの生物育成の技術 ・生物育成の技術の学習を振り、生物育成の技術と私たちの未来について考える。							
	9	エネルギー変換の技術 ①生活や社会とエネルギー変換の技術 ②エネルギー資源の利用(資源の種類、発電と送電、効率と省エネ)				4			
	10	電気の利用 ①電気エネルギーの特徴②熱・光への変換技術 ③動力・音・信号への変換技術④回路と回路図				4			
	11	エネルギー変換の技術による問題解決「災害復旧型ロボットの製作」 ①問題解決の手順を知り、ボールを斜面にもどす機能を考える。				4			
	12	②駆動部の仕組みを選択し、部品の設計・製作をする。 ③作業部の仕組みを選択し、部品の設計・製作をする。				3			
3	1	④ロボコン試作コースにて、試作版の評価・課題をみつけ、改善点・解決方法を考える。 ⑤校内ロボコンに参加し、適切な製作・実装・点検・調整をする。				3			
	2					3			
	3	これからのエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術の学習を振り、エネルギー変換の技術と私たちの未来について考える。				1			

教科名	科目名	単位数	学年・コース
技術・家庭	家庭	1	中学3年

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。		
学習内容の概要	家族と家庭では、乳幼児の体や心の発達の学習を通して、幼児との関わり方の理解や年齢に適したおもちゃ製作をする。幼児とのふれあい体験では、保育実習で自分への課題を持ち、幼い子への理解を深める。消費生活については、権利と責任の理解、また環境に配慮した消費生活を工夫できるようにする。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	生活と技術について理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけているか	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し表現するなど課題を解決する力を身につけているか	よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組む、振り返って改善する・生活を工夫し創造するなど実践しようとしているか
評価の方法	テスト	60%	平常点 40%
教科書・教材等	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	○家族と家庭	1		
		○家族・家庭と地域 ・家庭のはたらき	1		
	5	・わたしたちの家庭生活と地域	2		
		○子どもの成長	2		
	6	○幼児の生活と遊び ・私の成長をたどる	1		
		・幼児の体の発達	2		
	7	○幼児の生活と遊び ・幼児の心の発達	2		
		・幼児の心身の発達と家族の役割	2		
2	8				
	9	・子どもの成長と地域	2		
		・幼児の遊びと発達	2		
	10	・幼児と遊ぶおもちゃ作り	6		
	11				
3	1	○消費生活	2		
		○よりよい消費生活のために ・契約と消費生活のトラブル	2		
	2	・消費者を支えるしくみ	2		
		・消費者の権利と責任	2		
	3	○環境に配慮した消費生活 ・自ら取り組むエコ活動	2		
		・持続可能な社会に向けて	2		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学3年	必修
科目の目標	○レジリエンス教育を通して多認知的な視点を身につけ、適切な自己受容・他者受容につなげ自己肯定感を育む。 ○ダイバーシティ教育として、様々な人権問題について深く学び道徳的価値観を広げ、それに基づいた生き方についての自覚を深化させる ○様々な活動の発表や講演、交流事業を通して多面的、多角的な道徳的理解を基礎とした実践力を育成する。 これらの軸を通じて、今後の社会においてよりよく生きるための基礎となる道徳性を養う。			
学習内容の概要	A主として自分自身に関すること、B主として人との関わりに関すること、C主として集団や社会との関わりに関すること、D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することについて、様々な視点・手法でアプローチする。 特にAでは、レジリエンス教育Ⅰを通じて自分自身の感情の向き合い方を重点的に学ぶ。 また、中学校3年間を通して様々な人権課題を学び、適切に理解することで人権意識を高める。特に中学3年次は歴史的な人権課題を中心に学ぶ。			
評価の観点	・授業後に提出するワークシートの内容 ・授業後に記入する振り返り			
評価の方法	数値等による評価はしないが、振り返り等の内容は生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握するため活用する。			
教科書・教材等	新しい道徳 中学校			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	ガイダンス	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。行動の振り返りは毎週行い、自他でフィードバックを行う。	3		
		PBISを基にした目標の作成				
	5	差別とは何か 歴史と差別:部落差別・人種差別	差別がなぜおこるのか、また同和問題、人種差別について、講演者の話を通して差別の歴史を学習する。	5		
	6	レジリエンスⅢ	レジリエンスⅢでは自身のモチベーションについて学習し、これからの自身のあり方について考察する。	5		
2	7	家族について	世界の「家族」について学習し、これからの家族の在り方について考察する。	1		
		PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定	学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学期の目標を考察する。	1		
	8	PBISを基にした目標の作成	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。	2		
	9	モラルジレンマ	モラルジレンマ教材を活用し、自身の大切にしている価値について学習し、真理を探究する。	3		
	10	服装・マナーについて	礼儀や時と場合における適切な言動などについて学習する。	1		
		ハンセン病学習	ハンセン病の方、家族の方などのお話を聞いたり、ハンセン病についての医学・科学的な理解・社会的な理解・内面的な理解を進め、深める中で「自分や人間の心はどうあるべきか」を考察する。	4 2		
	11	転生したら、見習い〇〇屋だった件	特定の職業について、仕事内容ややりがいなどのインタビュー調査を通して学習し、自身が何を働きがいとして働くか考察する。	3		
	12	伝統と文化を感じさせるゲスト	鳥取や日本の伝統芸能・文化にふれ、その歴史や技術・関わる人の思いを学習し、将来の社会へとつなげていく態度を育成する。	1		
		PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定	学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学期の目標を考察する。	1		
3	1	PBISを基にした目標の作成	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。	1		
		環境危機を人類は止めることができるのか	「環境危機を人類は止めることができるのか」というテーマのもと自然愛語の観点から、他者と考えを共有する。	1		
	2	みんなと共に生きることとは(3年間の人権学習のまとめ):作文作成	3年間の道徳学習のまとめとして、『共生』に主眼を置いて、自分自身で公平・公正・公徳心についての作文を作成する。	3		
	3	PBISを基にした学期・年間の振り返り / 道徳の振り返り	学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学年の目標を考察する。また1年間の道徳の学習を通して学んだことを振り返る。	2		